

晴耕雨読 31

Vol. 31 August 2013 seikoudoku

●発行:株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業登録
〒869-1234
熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)
本社:熊本市/八代支店/合志営業所
TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885
E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp

太陽のエネルギーで育った路地栽培の完熟スイカを冷やして、かぶりつのが楽しみな猛暑の季節となりました。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？



～阿蘇地域の復興を願って～

昨年、平成24年7月12日阿蘇地域は未曾有の豪雨に見舞われ、尊い人命や財産が奪われたことは皆さん記憶に新しいと思います。あの災害から早1年が経ちました。現在、関係各位が鋭意、災害復旧に取り組んでおられます。その中でも地域住民の期待は、災害復旧から地域復興、そして大量の災害残土の有効活用等がポイントのようです。世界農業遺産に選ばれた阿蘇地域の国風を象徴する「阿蘇がまだ計画」的な構想の旗印が必要と感じています。H/N

身近な環境と暮らし



日本の四季(二十四節気)

本年は空梅雨で安堵された方も多いことかと思えます。水は生命の源です。・・・程好く降ってもらうのが良いのですが、夕方の水やりは植物も喜びます。翌日、涼しげな緑陰や花を提供してくれるでしょう。
※植物は、歩いて水場に行けません。心あるあなたの水掛けで命をつなぐ花も長寿命化に繋がることと思います。人間には身勝手な人種がいます。この時期、駐車場や歩道交差点等では木陰を大歓迎しますが、初夏の毛虫時期や落葉時期には、お世話になった「街路樹」を「害路樹」と扱う恩知らず人種です。読者のあなたは違うと信じております。どこかで聞いたフレーズですが「感謝のこころだ～」
「大暑」は、24節気の12番目で1年で最も暑さが厳しいとされる時期です。現在広まっている定気法では7月23日ごろとされています。ちなみに、暑中とは「小暑」と「大暑」の間一ヶ月で、暑中見舞はこの間に済ませるのが慣例のようです。A/T

絶品！
梅に焼酎
挑戦
！



漬込んだ直後の写真

ゴボウを知らない人は少ないと思います。しかし、ゴボウの花は見たことがない人も多いと思います。花は2年目咲き、筒状花の赤紫色で、一見アザミにも似ています。花言葉は「いじめないで」だそうです。



緑

春山は淡泊にして笑うが如く
夏山は蒼翠にして瀟湘が如し
秋山は明浄にして粧うが如く
冬山は慘淡として眠るが如し

— 臥遊録より —
枯れてひっそりとした冬の山にも、やがて春は訪れる。『臥遊録』の中で四季の山の様子を表現する上で、これ以上ない言葉とされる。

■焼酎文化を楽しむ

人吉の寿福酒造の代表者の絹子さんに頂いた梅焼酎の味が忘れられず、直接、本人に直伝を乞うた！！焼酎は拘って43度の『武者返し』一升と氷砂糖と梅1kg。これをビンに入れて1年寝かせると味がまるやかになるとのこと。左写真は漬込んだ直後の写真で色が綺麗です。毎日氷砂糖が少しずつ溶けていくのを眺めながら一年後を心待ちにしています。焼酎の利活用は幅広く、また深い。只々、人の知恵に感謝する次第です。H/N

葉

菊池市の北東部に位置する干疊河原から産(うぶ)さん滝までは、菊池川の浸食によってV字峡谷となっており、周辺の

山々や田園風景と合いました素晴らしい景観がふるさとの川として心癒される場所となっています。夏は涼を求める子ども達の隠れた穴場として、川遊びや釣りをする姿がよく見られます。B/I

夏の代表花

ネムノキ(合歓木)はマメ科ネムノキ亜科の落葉高木。別名:ネム・ネブ。飛び抜けて耐寒性が強く高緯度まで分布する。和名のネムは、夜になると葉が閉じることに由来する。A/T

■真・行・草の話

■旧江津花壇(旧砂取邸)に学ぶ
平成25年6月29日(土)日本造園修景協会熊本支部が開催した手入れ不足の古い庭の研修に参加した。県立図書館の学芸員による説明は、資料は勿論、話も充実した内容であった。その中で「真・行・草」という庭づくりの手法を知った。この真行草の精神はお茶の世界にもある。物は考えようで、これからのインフラ整備の川・道づくりに取り入れると面白いと思った。H/N



農村環境

～神話の里はやっぱり綺麗だった～

夏空全開の7月の休日、日本神話の里「高千穂峡」へ行ってきました。近年ではパワースポットとして多くの方が訪れる地として有名ですが、100mの断崖が6kmも続いている遊歩道を歩くと鬼八の力石や仙人の屏風岩など数々の神話にまつわる見どころがあり、30度を超す暑さの中でも見入ってしまう景色でした。そしてこの日一番驚いた事は、私が歩いた遊歩道にゴミが一つも落ちていない事。沢山の観光客が訪れるこの地が今後もキレイに維持されていくことを願っています。T/B



高千穂峡



おのころ島

おのころ島で泳いでいたチョウザメ！！
エサが置いてあり、エサをあげる事が出来るようになっていました。



～夏野菜は栄養たっぷり～

馬見原町で買い求めた茄子・ピーマン・トマトを植えました。夏の太陽の日差しをたっぷり浴びてグングン育ってます。代表的な夏野菜にはトマト・キュウリ・ピーマン・ゴーヤ・ナス・トウモロコシなどがあり、色が濃くカラフルなビタミンカラーが特徴。食欲も落ちるこの季節に食欲を刺激してくれます。今はお店に行くときの野菜も一年中並んでいるので、いつ旬かを忘れがちになりますが、夏野菜の本当の美味しさは夏だけのものです。色々なサプリメントもありますが、夏野菜は自然の夏バテ予防剤です。たっぷり水分を含んでいるので体温を下げ、それぞれの夏野菜のビタミンは体の調子を整える働きがあり、生食や簡単な調理で美味しく食べられます。健康で頑張るため毎日食べるような心がけたいものです。I/O



なす

夏になると我が家の窓に来る訪問者のヤモリ



土木文化

■土木構造物のトリックアート

～物づくりは工夫とアイデア次第～



気温が30度を越し、いよいよ夏本番となって参りました。私は寒いのが苦手ですが、暑いこの季節は非常に好きな季節です。さて、少し前に流行ったトリックアートを皆さんご存知でしょうか？トリックアートとは人間の目の錯覚により、平面的な絵が立体的に見えたりすることです。先日、華の都東京へ出かけたときに非常に興味深い塗装が施された橋梁(上の写真)がありました。

上の写真に示すように上面は黒色に塗装し、下面はアーチ状の白色に塗装。この写真から皆様はどのように感じますか？個人的には、アーチ状に塗装したことで、橋梁の圧迫感が軽減されたと感じます。また周辺の景観とマッチしており、ランドマーク的な存在にも感じられました。

土木技術に求められる「人々の安全と快適な生活の確保を送るための社会インフラ整備」だけではなく、チョットした工夫と粋な遊び心で維持更新することが必要と考えます。K/N



■作るから代守へる

近年、中央自動車道 笹子トンネル天井崩落事故の影響を受け、国は点検・補修と事前の防災・減災対策に重点を置いた総点検実施要領案(橋梁・トンネル・舗装・道路標識・のり面等)を作成し、構造物の老朽・劣化状況等の全容把握を実施しています。同点検では、「第三者被害を防止する観点」がキーワードなため、現場における点検技術者の判断及び損傷が確認された場合の早急な応急措置が重要になります。経済的な制約もありますが、安全性に主眼をおいた工夫や検討等が管理者で、利用者が異変に気付いたらいち早く連絡する体制づくりも必要と感じます。T/M

人

擬宝珠
伝統的な建造物の装飾で石橋などの欄干に見られる。



■我がふるさとの先哲

私は阿蘇南外輪の標高約300mの高台にある水と緑豊かな田舎の御船町の茶屋本という所で生まれ育ちました。近頃地元の長老の方など通じて先人の偉業を意識するようになったのは、地元に対する愛着が増してきたからだと思います。うちの子供達が大好きな「るろうに剣心」という明治維新を背景にしたアニメを見ていた時、宮部鼎蔵が登場し驚いた覚えがありました。あの池田屋事件、会談中に新選組に襲われ自決した歴史的人物は私が住んでいる御船出身。鼎蔵は文政3年(1820年)この地に生まれ肥後藩の軍学師範となり、国学古典の研究を深め倒幕運動の先駆けとなって活躍した人物。大正2年、宮部鼎蔵とその弟春蔵の偉業を記念し二人の名前から鼎春公園として整備。さらに平成17年には地元有志が「宮部鼎蔵先生の銅像建立」と立ち上がり、寄付金を募り銅像(写真参照)が完成。自分の身近で歴史に残る先哲と同じ地を踏みしめている事を誇りに思い、大それたことはできないにしても、地域の発展には惜しみなく協力したいと心掛けています。K/H



■後記:熊本県内には、スケッチや写真に残したい風景や美味しい・懐かしい郷土料理等があります。まだまだ、気をつけて見るとビューポイントや歴史の重みを感じる重要な文化的景観などが沢山残されています。上記O内の四文字「緑線人招」は、樹木が人を寄せ付ける魅力あり、という意味合いです。

平成25年度会員募集
k-kan@ksn.biglobe.ne.jp

Rural environment